Full HD
CR-2000S VIDEO RECORDER

FINE Vu

CR-2000S

ユーザーマニュアル

Invite to the new value
inbyte

FINE DIGITAL

FineVuドライブレコーダーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書では、ドライブレコーダー『CR-2000S』の機能と操作方法をご案内しています。
製品に関する重要な注意事項や、正しい取扱い方法などの説明も記載されておりますので、ご利用になる前に必ずご一読ください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

製品の仕様について

株式会社INBYTE（以下 弊社）では常に製品の改善を行っており、製品の仕様および外観は予告なく変更される場合がございます。
お客様のお買い上げ時期によっては、同一製品であっても多少の差異が生じる場合がございますので、ご了承ください。
製品の最新情報・ファームウェアに関しましては、弊社ホームページ（http://inbyte.jp）をご参照ください。

著作権と商標

本書のいかなる部分も、Finedigitalの書面による事前の許可なしには、コピーまたは複製することができません。
FineVuはFinedigital Inc. の商標で、Finedigital の許可なしには使用することができません。
その他、記載されている各会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。

認証

本製品は、FCC 規則パート15に準ずるClassAのデジタル機器の制限事項に準拠しています。
これらの制限事項は、商業地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本製品は無線周波数エネルギーを生成し使用しています。また、無線周波数エネルギーを放射する可能性があるため、本書に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

製品名　：ドライブレコーダー (CR-2000S)
申請者名　：株式会社ファインデジタル
製造　：株式会社ファインデジタル（大韓民国）
連絡先　：0052-82-1588-6945

目次

◆ご利用上の注意……4～5
警告……4
注意……5
◆製品の特長……6
◆製品内容……7～9
フロントパーツ……7
リアパーツ……8
パソコン接続用パーツ……8
オプション……9
◆各部の名称と動作……10～11
フロントカメラ……10
リアカメラ……11
◆設置の準備と手順……12～14
フロントカメラの取付け位置……12
リアカメラの取付け位置……12
メモリーカードの取扱い……12
フロントカメラの取付け方法……13
リアカメラの取付け方法……14
◆2種類のモードと録画方式……15～19
基本となる2種類のモード……15
録画データの保存……16
通常モードの録画方式……17
駐車モードの録画方式……18
録画データの仕様……19
◆使用方法……20～30
画面構成……20
ライブ画面切り替え……20
メニュー画面への移行……21
メニュー画面の構成……22
フロントカメラ・リアカメラの設定……23～24
メモリ設定……25～26
本体設定……27～28
再生……28
myフォルダ機能……29
設定情報……29
録画データをパソコンで見る……30～31
◆FineVu Playerの使用方法……32～38
インストールの方法……32
画面構成……33～35
ファイルを読み込む……36
リストからファイルを取り除く……37
ファイルを再生する……37
画面を保存する……38
◆管理方法……39～43
ファームウェアを更新する……39
お手入れと保管の方法……40
メモリーカードのメンテナンス……41
故障かな?と思ったら……42～43
◆主な仕様……44～45
◆保証とアフターサービス……46
保証規定……46
株式会社 INBYTEサポートセンター……46

ご利用上の注意

警告 この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が発生し、その結果、大けがや死亡に至る危害が発生する場合があります。

電源

- 損傷または加工(改造)された電源ケーブルを使用しないでください。爆発や火災の原因となり、人身事故または車両の損傷を招く原因となります。
- 本製品を定格電圧を超えて使用しないでください。爆発や火災の原因となり、人身事故または車両の損傷を招く原因となります。
- 電源ケーブルを切断して接続しないでください。火災または製品の故障につながります。
- 本製品は12V車専用です。24V車には使用できません。

設置

- 本製品を高い湿度または引火性液体や可燃性ガスにさらされるおそれのある場所で使用しないでください。爆発や火災を招く原因となります。
- 閉め切った車内または直射日光など、高温になる場所に本製品を長時間放置しないでください。火災または製品の故障につながります。
- 視界を遮る場所に本製品を設置しないでください。自動車事故の原因となります。
- USBケーブルとAVケーブルは適切に差し込んでください。火災または製品の故障につながります。

使用

- 本製品が引火性液体または爆発生液体やガスに接触しないようにしてください。爆発や火災を招く原因となります。
- 金属や可燃性物質が本体のメモリーカードスロットやコード差込口に入らないようにしてください。感電や火災につながります。
- 感電する恐れがありますので、濡れた手で本製品を操作しないでください。
- お子様の手の届くところに本製品やそのアクセサリを放置しないでください。お子様が小さな部品を飲み込み、重傷を負ったり死亡事故につながる恐れがあります。
- 使用中、布や毛布で本製品を覆わないでください。熱し続けると火災や製品故障の原因となります。
- 運転中は本製品を操作しないでください。自動車事故の原因となります。

注意 この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が発生し、けがや財産に損害を与える場合があります。

設置

- 常時電源コードの設置は個人では行わないでください。車種により接続方法が異なりますので、必ず専門の技術者に設置をご依頼ください。誤った接続を行うと、製品および車両故障の原因となる恐れがあります。

使用

- 本体やレンズに過度の力をかけないでください。製品の故障につながります。
- キリなどの尖った物や鋭い物を本製品に対して使用しないでください。製品故障の原因となる恐れがあります。
- 本製品に水やワックスを直接かけないでください。感電または製品の故障につながります。
- 長時間使用した場合は本体が熱くなり、触れると火傷の原因となります。
- 本製品を分解または改造しないでください。製品が破損したりデータが失われる原因となります。
- 撮影時はレンズが遮られないように注意してください。
- 低い気温で本製品を使う場合、液晶モニターの点灯時間が長くなったり、一時的に画面の色が変わることがあります。このような現象は故障ではなく、常温では正常に使用することができます。
- カメラの構図を変更する場合、液晶モニター上に残像が生じることがあります。

管理

- 本製品およびアクセサリーをペットの周辺に置かないでください。ペットの毛など、異質物が製品内部に流入し、爆発や故障の原因となる恐れがあります。
- 本製品を長期間使用しない場合、電源ケーブルを抜いてください。火災または製品の故障につながります。
- 電源コードやその他ケーブルが差し込まれている状態で、製品を移動させないでください。火災や感電につながります。

Note

- 製品の仕様や本書の内容は、性能の改良のために事前の通知なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全てを許可なく複写することはできません。
- 本製品で映像が記録されなかった場合や、記録された映像データが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害については弊社は一切責任を負いません。
- 大きな事故や、水没などで本体およびバッテリが損傷を受けた場合、本体とバッテリ間の電源コードが断線した場合、映像が記録できないことがあります。

製品の特長

鮮明なビデオ画質
- 16：9ワイドスクリーンとフルHDビデオ録画
- SONY Exmor CMOSセンサーを搭載
- 1920×1080 の高解像度撮影
- 水平115°の広い視野角
- さまざまなシーンで使える豊富な設定項目

3.5インチ 液晶ディスプレイ搭載
- 直感的な操作が可能なタッチパネル採用
- フロント／リアカメラの映像をリアルタイムに出力
- 録画映像の再生機能搭載
- 本体のみで全ての設定が可能

多彩な録画モード
- 走行中　常時録画／衝撃感知録画
- 駐車中　衝撃感知録画／動体検知録画
- 緊急録画（手動）

便利な機能
- 高速起動で発車直後の撮り逃しを防止
- ブラケットからの脱着が簡単
- 日本語音声案内搭載

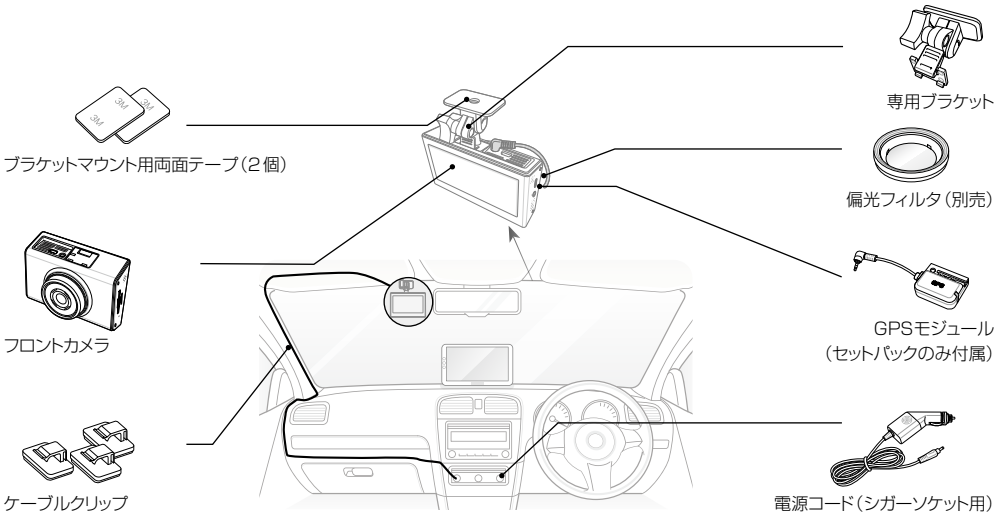
予備電源（スーパーキャパシタ）内蔵
- 事故またはその他理由により電源が遮断された際、内蔵の予備電源により録画データを正しく保存（予備電源は数十秒動作）

パソコンに簡単接続
- USBケーブルでパソコンと直接接続
- USBストレージデバイスとして認識
- 専用プレーヤーあり（Windows専用）
- 一般的な動画プレーヤーでも再生可能なファイル形式

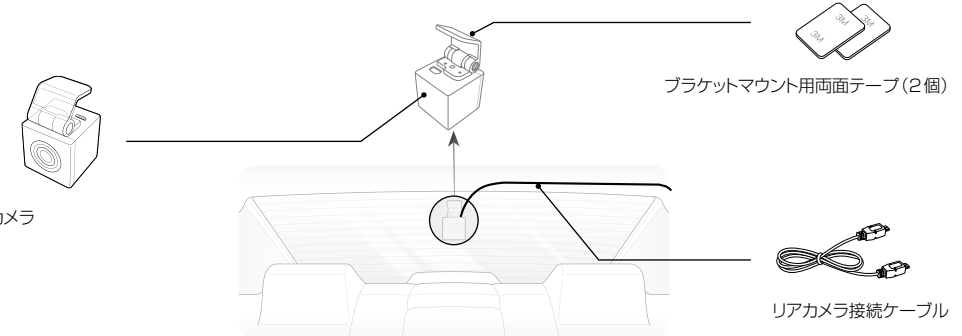
録画目的に合わせたメモリ管理
- 2つのSDカードを使用して記録時間を大幅に増やす「デュアルSDカード機能」搭載
- 利用目的にあわせて、メモリの割り当てをカスタマイズ可能

製品内容

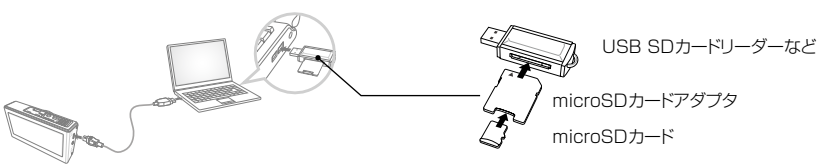
フロントパーツ



リアパーツ(セットパックのみ付属)

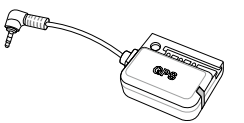


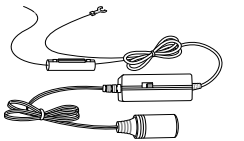
パソコン接続用パーツ

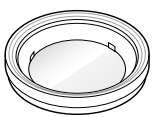


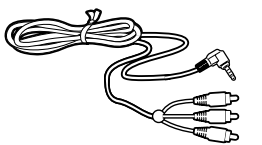
オプション

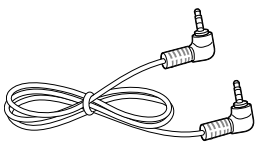
リアカメラ


GPSモジュール


常時電源コード


偏光フィルタ


コンポジット端子用AVケーブル


4極ミニプラグ用AVケーブル

Note

- オプションパーツは弊社直販のネットショップなど、正規販売店にてお求めいただけます。
- GPSモジュールを利用される場合には、外部出力の機能はご利用頂けません。

各部の名称と動作

フロントカメラ

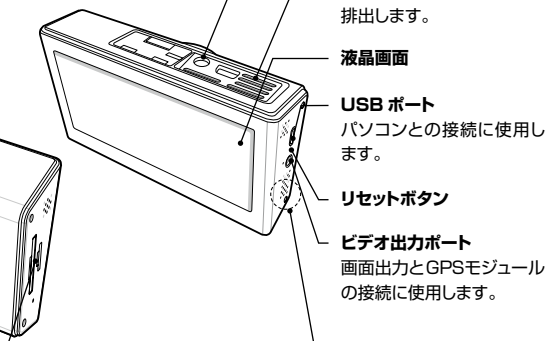
ブラケット接続部
取付ブラケットを接続部に差し込みます。

リアカメラ接続ポート
リアカメラに接続します。（ビデオと電源入／出力）

セキュリティLED
ドライブレコーダーの動作状態を表示します。

フロントカメラレンズ
前方向の録画を行います。

メモリーカードスロット
microSDカード／SDカードを挿入します。



電源ポート
電源（DC12V）供給に使用します。

排気口
本体から発生する熱を外に排出します。

液晶画面

USB ポート
パソコンとの接続に使用します。

リセットボタン

ビデオ出力ポート
画面出力とGPSモジュールの接続に使用します。

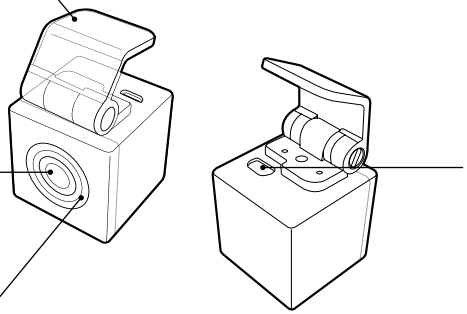
スピーカー
アラームと音声で本体の動作の状態を知らせます。

リアカメラ

リアカメラ ブラケット
リアカメラを取り付けます。

リアカメラレンズ
後方の録画を行います。

セキュリティLED
ドライブレコーダーの動作状態を表示します。



リアカメラ接続ポート
フロントカメラに接続します。（ビデオと電源入／出力）

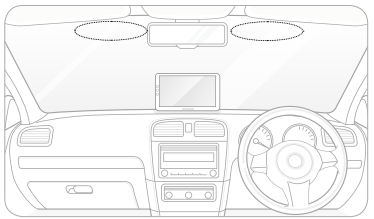
Note

- リアカメラ接続ポートには、専用のケーブル以外を差し込まないでください。携帯電話の充電器やその他 microUSB ケーブルを接続すると、破損の原因となります。

設置の準備と手順

フロントカメラの取付け位置

- バックミラー付近のフロントガラスに設置してください。
- フロントガラスの上部20%の範囲内で設置するよう法律で定められております。

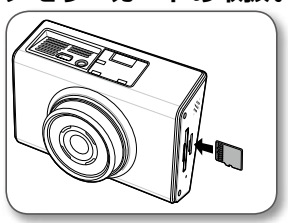


リアカメラの取付け位置

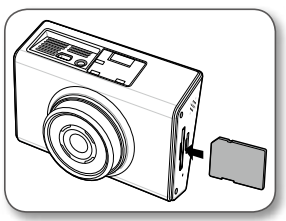
- 車体のリアウィンドウ上部に取付けることをお勧めします。

注意 **製品は運転手の視界を遮らない場所に設置してください。**

メモリーカードの取扱い



microSDカードのセット方法



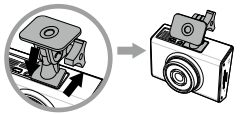
SDカードのセット方法

Note

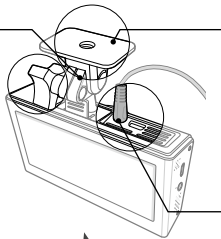
- メモリーカードの向きにご注意ください。
- メモリーカードを取り出す場合は、セットされたカードを少し押し込むことで、取り出すことができます。

フロントカメラの取付け方法

本体にブラケットを装着します。



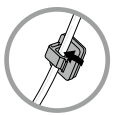
1



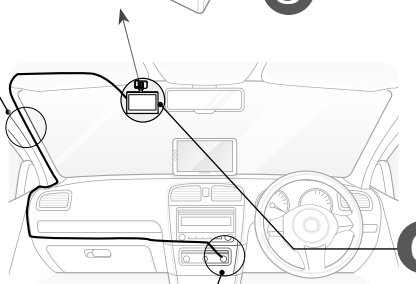
2 両面テープを使用して、ブラケットを設置します。

3 電源ケーブルを接続します。

クリップで電源ケーブルを適切な位置に固定します。



4



シガーソケットに差し込みます。

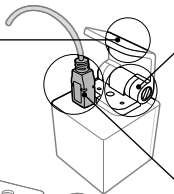
5

6 GPSモジュールを取付けます。

リアカメラの取付け方法

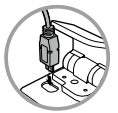
両面テープを使用して、ブラケットを設置します。

1



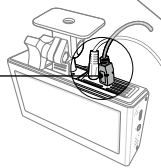
2 リアカメラ角度を調整します。

3 フロントカメラにリアカメラ接続ケーブルに接続します。
※端子の保護フィルムをはがしてご使用ください。

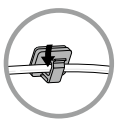


リアカメラ接続ケーブルをリアカメラに接続します。

5



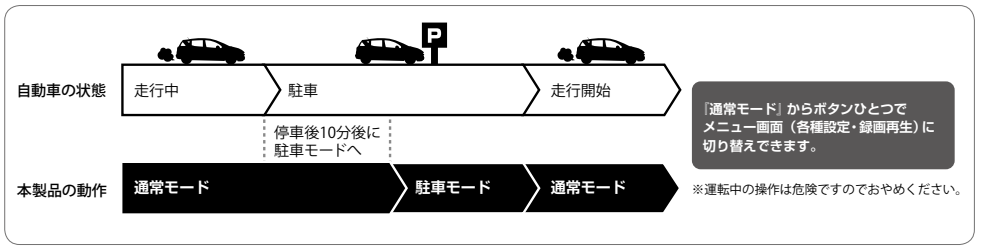
4 リアカメラ接続ケーブルをクリップで固定位置に留めます。



２種類のモードと録画方式

基本となる2種類のモード

本製品では、走行中と駐車中の2種類のモードが基本となっています。
走行中は『通常モード』、駐停車中は『駐車モード』と呼び、2種類のモードは自動車の動きとカメラに写る映像の変化によって、自動的に切り替わります。



- 通常モード動作中に自動車を停車させると、停車後10分後に駐車モードに切り替わり、液晶画面の表示がオフになります。
- 通常モードと駐車モードでは、録画の方式に違いがあります。たとえば、駐車モード中は常時録画を行わず、動体や衝撃を感知した場合のみ録画を行います。
- 駐車モードを使用する場合、常時電源コード（オプション）が必要です。設置はヒューズボックスへの接続が必要になりますので、カー用品店などの専門業者へ設置をご依頼ください。
- 各動作モードとメニュー画面についての詳細な説明は、下記をご参照ください。

→ 通常モードの録画方式　P.17
→ 駐車モードの録画方式　P.18
→ メニュー画面の構成　P.22

録画データの保存

本製品では、メインとして使うmicroSDカードに加え、拡張用のSDカードを1枚セットすることが可能です。
2枚のメモリーカードを使う場合、通常モードと駐車モードを分けて保存するので、従来よりも長時間撮影することができます。

	通常モードの録画データ保存先	駐車モードの録画データ保存先
microSDカードのみ使用する場合	microSDカード	microSDカード
microSDカード・SDカードを併用する場合	microSDカード	SDカード

Note

- 録画データの保存にはmicroSDカードが必須となります。
- ファームウェアのアップグレードはmicroSDカードのみで実行できます。SDカードではできません。
- SDカードは別売りです。必ずClass10以上のSDカードをご利用ください。

通常モードの録画方式

通常モードの録画方式には3種類あります。記録方式によって、メモリーカード内の保存先フォルダが分けられています。

記録方式	説明	保存先フォルダ名
常時録画	走行時における通常の録画方式です。 走行中の映像を常に録画し続けます。	normal
衝撃感知録画	衝撃センサーが大きな振動や事故の衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知録画に移行し、その前後の録画データを専用フォルダへ移動します。 衝撃の瞬間の前10秒間、後20秒間の合計30秒間をひとつのファイルとして保存します。 連続で衝撃を感知した場合には最大で2分録画を続けます。 衝撃感知録画後は自動的に常時録画に戻ります。	event
緊急録画	常時録画中で、意図的に録画中の場面を保護したいとき、緊急録画ボタンをタッチすることで衝撃感知録画と同様の効果を得ることができます。 緊急録画ボタンをタッチする前10秒間、後50秒間の合計60秒間をひとつのファイルとして、専用フォルダに保存します。 緊急録画ボタンをもう一度タッチすると、緊急録画を停止します。緊急録画後は自動で常時録画に戻ります。	camcoder

Note

- 設定された容量を超えた場合、保存先フォルダ内の古い録画データから順に上書きされます。
- 保護したい録画データはmyフォルダに移動してください。（myフォルダ機能→ P.29）
- 容量の割り当てについてはP.25 をご参照ください。

駐車モードの録画方式

駐車モードに入ると常時録画が中止され、液晶画面が消灯したスタンバイ状態になります。この状態では、動体を検知するか、または衝撃を感知した場合のみ録画を行い、車両の出発後は通常モード（常時録画）に戻ります。
駐車モードの録画方式には2種類あります。記録方式によって、メモリーカード内の保存先フォルダが分けられています。
また、駐車モードでは、拡張用SDカードの有無によって保存されるメモリーカードが異なります。
（『録画データの管理』→ P.16、『メモリの管理』→ P.25 をご参照ください）

記録方式	説明	保存先フォルダ名
動体検知録画	カメラの範囲内に何らかの動きがあった場合、自動的に動体検知録画に移行し、その前後の録画データを専用フォルダへ移動します。 動体検知の前10秒間、後20秒間の合計30秒間をひとつのファイルとして保存します。 動体検知録画後は自動的にスタンバイ状態に戻ります。	motion
衝撃感知録画	衝撃センサーが大きな振動や事故の衝撃を感知すると、自動的に衝撃感知録画に移行し、その前後の録画データを専用フォルダへ移動します。 衝撃の瞬間の前10秒間、後20秒間の合計30秒間をひとつのファイルとして保存します。 連続で衝撃を感知した場合には最大で2分録画を続けます。 衝撃感知録画後は自動的にスタンバイ状態に戻ります。	parking

Note

- 設定された容量を超えた場合、保存先フォルダ内の古い録画データから順に上書きされます。
- 保護したい録画データはmyフォルダに移動してください。（myフォルダの詳細→ P.29）
- 容量の割り当てについてはP.25 をご参照ください。

録画データの仕様

録画データの仕様および保存フォルダは以下のとおりです。

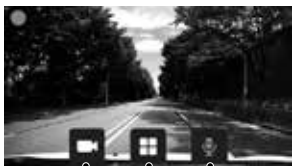
モード		保存時間		保存先フォルダ名
解像度		1080p	720p	
通常モード	常時録画	合計 2 分	合計 2 分	normal
	緊急録画	1080p 前 10秒＋後 50秒 合計 60秒	720p 前 10秒＋後 50秒 合計 60秒	camcorder
	衝撃感知録画	1080p 前 10秒＋後 20秒 合計 30秒	720p 前 10秒＋後 20秒 合計 30秒	event
駐車モード	駐車中 衝撃感知録画			parking
	動体検知録画			motion
my フォルダ		選んだ映像による		myfolder

使用方法

画面構成

通常モードでは、常にライブ画面または待機画面が表示されます。ライブ画面では録画中の画像をリアルタイムで確認できます。
起動時にはフロントカメラ映像が表示されます。

ライブ画面



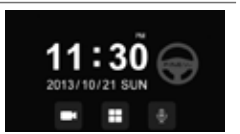
緊急録画　メニュー画面　マイクon／off

メニュー画面

ライブ画面へ戻る

ライブ画面切り替え

ライブ画面のボタン以外の領域をタッチすると、『フロントカメラ映像』→『リアカメラ映像』→『デュアルスクリーン』→『待機画面』の順に画面を切り替えます。

			
フロントカメラ映像	リアカメラ映像	デュアルスクリーン	待機画面

メニュー画面への移行

	メニューボタンをタッチしてメニュー画面に移動します。
	メニュー画面を表示して設定の確認・変更を行う場合、また映像を再生している間は、録画が中断されます。 警告の内容を確認して、『OK』を押します。
	メニュー画面からは、各種設定を変更したり、録画データを確認することができます。 詳細は下記のページをご参照ください。 • フロントカメラ・リアカメラの設定画面　P.23 • メモリ設定　P.25 • 本体設定　P.27 • 再生　P.28 • 設定情報　P.29

メニュー画面の構成

フロントカメラ
フロントカメラの設定を変更できます。（→ P.23）

リアカメラ
リアカメラの設定を変更できます。（→ P.23）

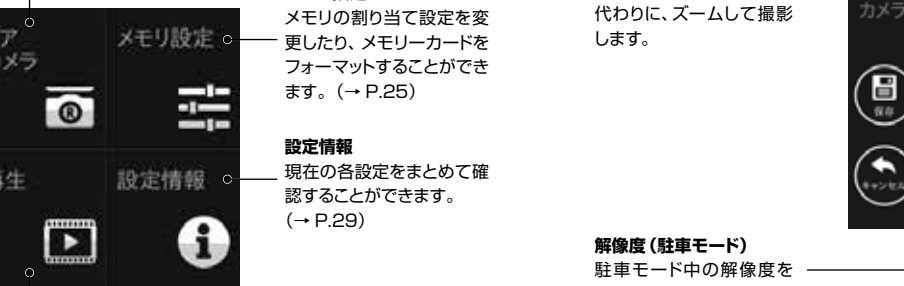
メモリ設定
メモリの割り当て設定を変更したり、メモリーカードをフォーマットすることができます。（→ P.25）

設定情報
現在の各設定をまとめて確認することができます。（→ P.29）

ライブ画面
ライブ画面に戻ります。

本体設定
スピーカー音量、衝撃感度、LED MODE、リアカメラの撮影方向、日時などを設定することができます。（→ P.27）

再生
録画された映像データを確認することができます。（→ P.28）



フロントカメラ・リアカメラの設定

解像度（通常モード）
通常モード中の解像度を設定することができます。『ZOOM』の表示がある設定では、視野角が狭くなる代わりに、ズームして撮影します。

フレーム数を設定
フレームレート（fps）を設定します。
フロントカメラではこの設定を変更することはできません。

解像度（駐車モード）
駐車モード中の解像度を設定することができます。

明るさ・WDR
昼間・夜間映像の明るさや、WDRを設定することができます。（→ P.24）

Note

- リアカメラの設定項目は、フロントカメラの設定内容によって一部制限されることがあります。
- リアカメラの設定で駐停車中の解像度をOFFにした場合、駐車モードから通常モードに切り替わる際に再起動を行います。
- 走行中と駐停車中で異なる解像度を設定した場合、駐車モードから通常モードに切り替わる際に約3秒ほど撮影できない時間が発生します。

＊明るさ・WDR

シャープネス
強くした場合にはエッジを強調し、弱くした場合にはソフトな印象の効果を与えます。

明るさ
通常の動画の明るさを設定できます。

夜間の明るさ
暗い状態で撮影された場合の、動画の明るさを設定できます。

撮影モード
低照度（白黒に近い色合い）での撮影を選択できます。通常は「普通」でご利用ください。

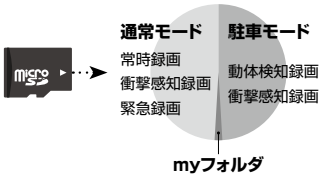
WDR
明るい部分の明るさを抑え、暗い部分を明るく補正する機能です。
主に夜間や逆光時の映りが向上します。

メモリ設定

メニュー画面から「メモリ設定」に移行すると、メモリに関する設定を変更することができます。

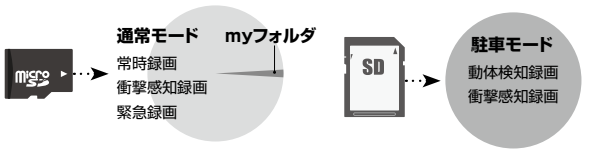
＊microSDカードのみ使用する場合のメモリ割り当て

通常モード・駐車モード両方の録画データがmicroSDカードに保存されます。
microSDカードの保存領域は通常モード用・駐車モード用に分割され、その中から録画方式ごとの保存容量が割り当てられます。
録画方式ごとの保存容量は、ユーザーの運転環境に応じて、5種類の中から選択が可能です。



＊SDカードを併用する場合のメモリ割り当て

通常モードの録画データはmicroSDカードに、駐車モードの録画データはSDカードに保存されます。
メモリーカードの保存領域には録画方式ごとの保存容量が割り当てられます。
録画方式ごとの保存容量は、ユーザーの運転環境に応じて、5種類の中から選択が可能です。



Note

- myフォルダはmicroSDカードの容量の5%を使用します。詳細は『myフォルダ機能』（P.29）をご参照ください。

＊各録画方式の割合を変更する

タッチして各モードの割り当てパターンを変更

各録画方式がメモリーカードに占める割合を変更する場合、左図に ⇦ で示した場所をタッチします。
上の半円で通常モードを、下の半円で駐車モードを設定変更できます。
容量割り当てのパターンは5種類あります。本製品のご利用目的に応じて割り当てを変更してください。

＊メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマット（初期化）したい場合は、⇦ で示した場所をタッチします。フォーマットを行うかどうかの確認が表示されますので、『OK』を選択してください。

注意 **フォーマットを行うと、メモリーカード内のデータは全て削除されます。**

本体設定

スピーカー
スピーカーの音量を変更できます。

感度調整
衝撃感知や動体検知における感度を設定することができます。

時間設定
日時を設定することができます。

ディスプレイ
LEDのオン／オフ、メニューボタンの表示／非表示、リアカメラの撮影方向に関する設定を行います。（→ P.28）

タッチ位置補正
タッチの精度が低下した場合などに、補正を行うことができます。

＊ディスプレイに関する設定

- **液晶画面**：液晶画面の表示方法を設定できます。
  【常に表示する】通常モード中は常に表示します。
  【操作中のみ表示する】一定時間操作を行わない場合に自動で液晶を消灯します。液晶画面をタッチすると再表示されます。
- **LED**：LEDの点灯方法を設定できます。
- **メニューボタン**：メニューボタンの表示方法を設定できます。
  【常に表示する】ライブ画面上に、常にメニューボタンが表示されます。
  【自動的に隠す】一定時間操作を行わない場合に自動でメニューボタンを隠します。液晶画面をタッチすると再表示されます。
- **リアカメラの撮影方向**：リアカメラの撮影方向を上下反転させます。設置位置にあわせて設定してください。

再生

メニュー画面から「再生」に移行すると、録画データを確認することができます。

1ページに3つのサムネイル画像がリスト表示されます。サムネイル画像を一度タッチすると選択状態になり、もう一度タッチすると録画データが再生されます。

タッチすると、次／前のページへ移動します。

タッチすると、3ページ先／前へ移動します。

再生中に画面下部をタッチすると、操作パネルが表示されます。

タッチすると、映像を5秒ずつスキップします。

タッチすると、次／前のファイルに移動します。

タッチすると、リスト表示に戻ります。

myフォルダ機能

自動で上書きされたくない録画データがある場合、myフォルダに移動して保護することができます。
myフォルダ内でも割り当て容量（microSDカードの容量の5%）を超過する場合は上書きされますが、ユーザーが手動で処理を行わない限り、自動で上書きされることはありません。

リスト表示された中から、保護したい録画データのサムネイル画像をタッチして選択します。

右上の をタッチすると、myフォルダのメニューが表示されます。
『映像を保存』をタッチすると『選択した映像をmyフォルダに保存しますか?』という表示が出ます。『OK』を押すと、選択した録画データを保存します。

設定情報

メニュー画面から「設定情報」に移行すると、現在の各種設定を一度に確認したり、初期状態に戻すことができます。

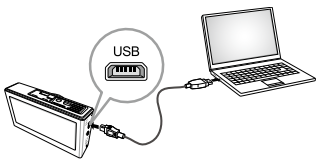
各種設定をデフォルト設定に戻す（初期化する）ことができます。
設定した情報はすべて失われますのでご注意ください。
初期化した後は自動的に再起動します。

録画データをパソコンで見る

USBケーブルで接続する場合

※ USBケーブルはセットに含まれていません。

1 USBケーブルでパソコンに接続します。



2 パソコンと接続するとリムーバブルディスクとして認識されます。

3 「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックすると図に示すように実行可能ファイルを含むフォルダが表示されます。

4 各フォルダに保存されている動画ファイルを開いて録画データを再生することができます。

メモリーカードを挿入する場合

1 本体からmicroSDカードを取り外し、メモリーカードリーダーを使用してパソコンに接続します。

Note

- 各フォルダに保存される内容は次のとおりです。
  常時録画：normal
  衝撃録画：event
  緊急録画：camcorder
  駐車中 動体検知録画：motion
  駐車中 衝撃録画：parking
  myフォルダ：myfolder
- 大切な映像はパソコンまたは他のストレージデバイスにバックアップしてください。

FineVu Player（ファインビュープレイヤー）の使用方法

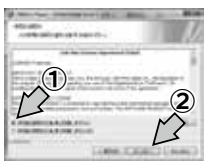
FineVu Player（ファインビュープレイヤー）は、本製品で記録したデータ（映像・地図・スピードなど）を見やすく表示するための専用プレイヤーです。

インストールの方法

1. 付属のmicroSDカードをパソコンのSDカードスロットへセットします。

2. microSDカードフォルダを開き『Setup.exe』をダブルクリックしてインストールをはじめます。図のような画面が表示されたら『次へ』をクリックします。

3. 図のような画面が表示されたら、
①『使用許諾契約の条項に同意します』をクリックします。
②『次へ』をクリックします。



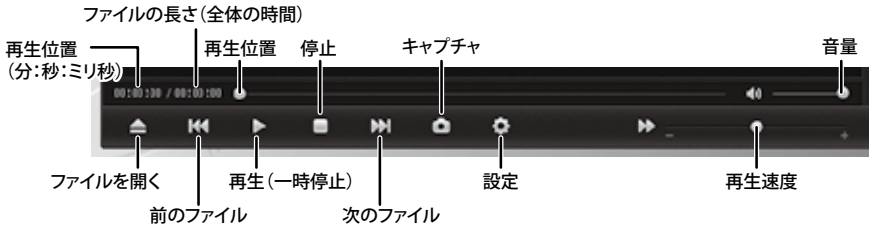
4. 次の画面で『インストール』をクリックします。

5. 図のような画面が表示されればインストール完了です。
『完了』をクリックして画面を閉じます。

6. 画面上に『FINEVu Player』のアイコンが作られます。

画面構成

＊操作パネル

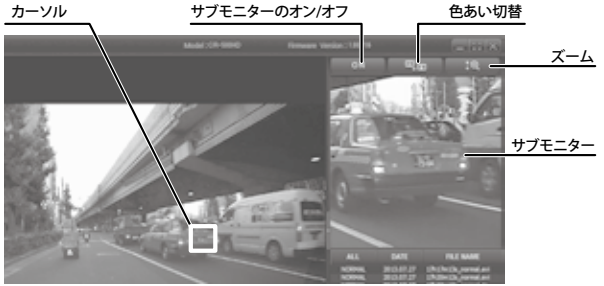


ボタン	ボタン名	内容
⏏	ファイルを開く	SDカードからデータを読み込みます。
⏮	前のファイル	再生中の前のファイルへジャンプします。
▶	再生 / 一時停止	再生します／再生中は⏸（一時停止）のボタンになります。
■	停止	再生を停止します。
⏭	次のファイル	再生中の次のファイルへジャンプします。
📷	画面を保存	表示中の記録映像の画面を画像ファイルで保存します。
⚙	設定	プレイヤーの設定をします。

操作名	内容
再生位置	●をマウスで操作して再生位置を動かすことができます。
音量	●をマウスで操作して音量を調節することができます。
再生速度	●をマウスで操作して速度を調節することができます。

＊サブモニター

サブモニターでは、再生映像の一部を拡大表示することができます。
サブモニターがオンの状態で、カーソルを映像の拡大したい場所に移動してクリックしてください。



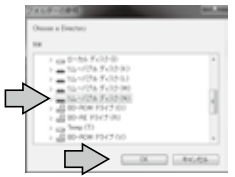
＊マップ

録画データにGPS情報が含まれ、かつパソコンがインターネットに接続している場合は、自動的にマップが開きます。

ファイルを読み込む

1 ファイルを開くボタンをクリックします。

2 録画データが保存されているメモリーカード、または本製品のドライブを選択して『OK』をクリックします。



3 ファイルリスト内にファイルが読み込まれ、一覧が表示されます。

＊記録形式について

ファイルリストの一番左側の列は、記録形式を表しています。

表示名	内容
MANUAL	緊急録画データ
MOTION	駐車モードの動体検知録画
PARKING	駐車モードの衝撃感知録画
NORMAL	通常モードの常時録画
EVENT	通常モードの衝撃感知録画
MYFOLDER	myフォルダに保存した録画データ
ETC	（本製品では使用しません）

＊記録形式による絞り込み

ファイルリストの左上にある『ALL』を押すと、右のようなメニューが表示されます。
ここで記録形式を選ぶことで、選択した記録形式のファイルのみ一覧に表示されます。
※『ALL』ですべてのファイルが表示されます。

リストからファイルを取り除く

この操作では、ファイルリストに読み込んだファイルを一覧から取り除くことができます。
※リストから除外するだけですので、メモリーカード内のデータは削除されません。

＊一覧から選択して削除する

1 削除したいファイルをクリックします。
複数のファイルを選択する場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

2 削除ボタンを押します。

＊すべてのファイルを一覧から削除する

すべてを削除ボタンを押すとファイルリストが空になります。

ファイルを再生する

1 ファイルを読み込みます。（→ P.36）

2 ファイルリストから、再生したいファイルをクリックして選択します。

3 再生ボタンをクリックします。再生ボタンをもう一度押すと再生を一時停止します。

FineVu Playerの動作環境

項目	必要スペック	推奨スペック
OS	Windows Vista	Windows7/8
HDD	50MB	70MB以上
CPU	Pentium4 3.0Ghz	Intel Dual Core 以上 AMD AthlonX2 以上
VGA	128MB	512MB 以上
RAM	1GB	2GB 以上
DirectX	9.0c	9.0c 以上
モニタ	1170×800	1280×1024 以上

画面を保存する

1 画面保存ボタンをクリックします。

2 ファイルの保存場所、名前を決めます。
①画像を保存する場所を選択
②ファイル名を記入
③『保存』をクリック

3 選択した場所にjpgファイルが作られます。

＊記録形式について

この操作でつくられる画像データはjpg形式です。
フロントとリアの2画面表示にしている場合と、フロントのみまたはリアのみの場合とでは、生成される画像に下のような違いがあります。

▼フロントまたはリアのみ

▼フロント&リア

管理方法

ファームウェアを更新する

1 INBYTEのホームページ（http://inbyte.jp）から、最新のファームウェアをダウンロードします。

2 本体からmicroSDカードを取り外して、メモリーカードリーダーを使用してパソコンに接続します。

3 パソコンと接続すると、リムーバブルディスクとして認識されます。（ファームウェアのアップグレード前にメモリーカードのフォーマットをお勧めします。）

4 ダウンロードしたファームウェアを解凍し、メモリーカードのルートディレクトリにコピーします。
※ルートディレクトリ…どのフォルダにも入れない状態

5 コピーが完了したmicroSDカードを本体に挿入して起動すると、アップグレードが行われます。

Note

- ファームウェアのアップグレードはmicroSDカードで行う必要があります。
- アップグレードの完了後、ファームウェアファイルは自動的に削除されます。
- アップグレード前に、microSDカードの重要なファイルはすべてバックアップすることをお勧めします。

お手入れと保管の方法

＊お手入れの方法

- レンズに汚れや異物が付いた場合、柔らかい布で拭き取ってください。直接レンズに触れないでください。
- 高品質の映像を録画するために、レンズに手で触れたり、他の物と接触させたりしないでください。
- 本体に汚れや異物が付いた場合、ティッシュまたは柔らかい布で拭き取ってください。
- 本体の端子に異物が入った場合は、無理に取り出したり分解したりせず、販売店に修理を依頼してください。

＊保管の方法

- 本製品を長期間使用しない場合、車両から取り外し屋内に保管してください。
- 保管の際は、箱に入れるなどして埃がかからないようにしてください。また、湿った場所を避けてください。
- 保管の際は、電源が切れていることを確認してください。
- 保管の際は、性能が低下することを防ぐために、メモリーカードは取り外してください。

メモリーカードのメンテナンス

＊メモリーカード取扱いの注意点

microSDカードやSDカードには書き込み可能回数の上限があります。
ドライブレコーダーは高画質で容量の大きい動画データを常時書き込みますので、他製品での利用よりも消耗が激しくなります。
書き込み可能回数の上限に近づくと、書き込みの不具合などが発生する恐れがあります。そのため、定期的に点検を行い、場合によってはフォーマットをするなどして、メンテナンスをしてください。

＊フォーマット方法

オペレーティングシステム(Windowsなど)には、記憶媒体をフォーマットするための機能が付属しています。
ただし、こちらは汎用のフォーマット機能であり、microSDカードやSDカード専用のものではありません。弊社では、安全な状態でメモリーカードを使用するため、専用のフォーマットソフトを使用することを推奨しております。
メモリーカード規格を策定する『SDアソシエーション』から、専用のフォーマットソフトが無料で提供されています。下記URLをご参照ください。

SDアソシエーション　SD／SDHC／SDXC用 SDフォーマッター 4.0
https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/

※本内容は2014年3月現在の情報に基づいて作成されたものです。

故障かな？と思ったら

＊本体の電源が入らない

- 電源（電源コード）が正しく接続されているか確認してください。
- 製品がまったく作動しない場合、クリップの先など細いものでリセットボタンを押してください。

＊本体が起動しない

- 付属の電源コードを利用しているか確認してください。
- microSDカードのフォーマット形式がFAT32であるか確認してください。NTFSまたはexFATは認識されません。
- 外部メモリーカードに欠陥がないか、またはFineVu専用のmicroSDカードを利用しているかどうか確認してください。

＊起動はするがアラーム等が鳴らない

- アラーム音量がOFFに設定されていないか確認してください。
- 音量を調整した後もアラームが鳴らない場合、販売店にご相談ください。

＊液晶ディスプレイが起動しない

- 起動が正常に行われているかをご確認ください。
- 音声案内が流れる状況で液晶ディスプレイが起動しない場合は、販売店にご相談ください。

＊液晶ディスプレイにタッチできない

- リセットボタンを押して再起動してください。
- 再起動後もタッチができない場合は、販売店にご相談ください。

＊録画した映像がパソコンで再生できない

- 録画データは再生環境によっては正しく再生できない場合があります。専用のFineVuPlayerでの再生をお試しください。
- 録画データに継続的なエラーが発生した場合、販売店にご相談ください。

＊パソコンで本機を認識しない

- USBハブをご使用の場合、接続が不安定になる場合があります。USBハブを使用せずに本製品をパソコンのUSBポートに直接接続してください。USBハブを通した接続は本体に安定した電源が供給できないことがあります。

＊録画した映像が本体で再生できない

- 本製品が適切に起動しているか、確認してください。
- 映像が表示されずにオーディオのみが再生される場合、販売店にご相談ください。

＊パソコンで認識はするが接続が切れる

- 可能であればパソコン本体のUSBポートに本機を接続してください。
- パソコンに接続されている他のUSBデバイスを取り外してください。本機のみを接続するか、USBホストカードに接続してください。
- 他のパソコンでも同じ問題が発生しないか確認してください。同じ問題が発生する場合は、販売店にご相談ください。

＊カーナビ等のUSBポートに接続後、動作しない

- カーナビ等のUSBポートでは、電力が不足するため動作しません。

＊外部メモリーカードを交換したい

- 正規代理店でmicroSDカードをご購入ください。
- microSDカードの物理的特性はメーカーごとに異なっています。microSDカードの中には本製品と互換性のないものもあります。

＊製品付属のmicroSDカードの中に『FineVu Player.exe』がない

- 本製品でmicroSDカードのフォーマットを行った場合、『FineVuPlayer.exe』も削除されます。プレーヤーはINBYTEのホームページ（http://inbyte.jp）からダウンロード可能となっておりますので、新たにダウンロードしてご利用ください。

主な仕様

項目	仕様		備考
製品名	FineVu CR-2000S		
寸法 / 重さ	フロントカメラ　98 × 65 × 43mm ／ 163g リアカメラ　35.8 × 35.8 × 35.8mm ／ 41g		ケーブル・ブラケットの重量を除く
記録媒体	micro SDHC	16GB ／ 32GB	専用のmicroSDカードをご利用ください
	SDカード（別売）	16GB ／ 32GB	Class10以上
記録モード	常時録画	対応解像度／フレーム フロントカメラ： 1920 × 1080 ／ 30fps リアカメラ： 1920 × 1080 ／ 30fps	2分単位の録画
	衝撃感知録画		衝撃発生の前10秒／後20秒　合計30秒 連続で衝撃感知した場合、最大2分まで録画
	緊急録画		前10秒／後50秒　合計1分 緊急録画、任意停止機能
	駐車中 動作検知録画		動作検知の前10秒／後20秒　合計30秒
	駐車中 衝撃感知録画		衝撃発生の前10秒／後20秒　合計30秒 連続で衝撃感知した場合、最大2分まで録画 （常時電源コードが必要）
レンズ	Full HD 広角レンズ		6層ガラス構造
センサー	2.4M pixels CMOS Image Sensor		フロントカメラ・リアカメラ共通

項目	仕様		備考
視野角	対角136 度／水平115 度／垂直 72 度		フロントカメラ・リアカメラ共通
動画サイズ	フロントカメラ　1920 × 1080 ／ 30fps リアカメラ　1920 × 1080 ／ 30fps		
エンコード形式	映像 : H.264（MPEG4） 音声 : PCM		.mp4
オーディオ	内臓マイク		
スピーカー	内臓スピーカー	8ohm	
GPS	外付けGPS	Ublox	
加速度センサー	3軸加速度センサー	+2g／-2g	
電源	12V 3A		USB 5Vの外部バッテリーサポート
消費電力	最大 約5W（LEDオン・リアカメラ使用時）		
バッテリー	スーパーキャパシタ		電源切断時に正常終了する為のみに利用
動作温度 / 保管温度	動作温度 : -10℃～60℃／保管温度 : -10℃～70℃		
インターフェース	USB 1.1／2.0 micro B type ／リアカメラ接続用		
その他	セキュリティ LED、ビデオ出力端子		

保証とアフターサービス

保証規定

1. 本書の注意にしたがい正常に使用した場合に限り、お買い上げの日より1年間無償で修理または交換いたします。
2. 修理または交換の必要が生じた場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げのお店もしくは当社へご持参いただくか、ご郵送ください。
3. 修理または交換のご依頼で、ご持参およびお持ち帰りに必要な交通費、または送付いただく際の送料および諸経費につきましては、お客様がご負担いただきますようお願い致します。郵送の場合、適切な梱包の上、紛失等を避けるため簡易書留をご利用ください。
4. 保証期間内であっても以下の場合は有償修理となります。
   イ.誤用、乱用および取り扱いの不注意による故障
   ロ.火災、地震、水害および盗難等の災害による故障または紛失
   ハ.許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷
   ニ.使用中に生じたキズ等の外観上の変化
   ホ.消耗品および付属品の故障、損傷または紛失
   ヘ.電池の液もれによる故障、損傷
   ト.保証書の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合
5. 以下の内容については保証いたしかねますのでご了承ください。
   イ.記録されたデータ
   ロ.発生した事故の損害
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

＊修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(P.42)をよくお読みいただき、それでも解決しない場合はサポートセンターまでご相談ください。

株式会社INBYTE サポートセンター

メールアドレス admin@inbyte.jp
電話番号 03-6809-1702
受付時間 10:30 ～ 18:00
（土・日曜日、祝祭日および当社指定休業日を除く）
ホームページ http://inbyte.jp/

- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポートについては日本国内限定とさせていただきます。
- 通話中の場合、しばらく経ってからお掛け直しいただきますようお願いいたします。
- 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

製品保証書

機種名	CR-2000S	型番	
保証期間	お買い上げ日より 1年間	お買い上げ日	年　月　日

お客様	お名前	
	ご住所	〒　ー
	お電話番号	ー　ー
	電子メール	@
販売店		

●お客様へ
本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客様欄をご記入のうえ、大切に保管してください。販売店欄に記入がない場合は、お買い求めのお店に記入していただいてください。
※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではございません。

●販売店様へ
お客様へのお渡し時に、販売店欄にご記入もしくは押印ください。

株式会社 INBYTE（インバイト）
〒105-0013
東京都港区浜松町1-17-4 第2丸芝ビル2階
TEL 03-6809-1702（平日10：30～18：00）

www.inbyte.jp

FINE DIGITAL

www.FineVu.com